

2023 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日の間に当科において PET 検査後に肺癌の手術を受けられた方及びご家族の方へ

— 「Digital PET による SUVmax と肺癌の病理学的因子との関連」 へのご協力をお願い —

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学	呼吸器外科学	臨床助教	松谷隆志
研究分担者	川崎医科大学	呼吸器外科学	教授	中田昌男
	川崎医科大学	呼吸器外科学	准教授	清水克彦
	川崎医科大学	呼吸器外科学	講師	最相晋輔
	川崎医科大学	呼吸器外科学	講師	野島雄史
	川崎医科大学	呼吸器外科学	臨床助教	杉山浩樹

1. 研究の概要

2023 年 10 月に当院では、より詳しく検査ができる新しい PET 検査の機械が導入されました。この研究では、新しい PET 検査装置で測定される数値と、肺癌手術後に顕微鏡で調べた結果(肺癌の種類、リンパ節への広がり、周りの組織への広がりなど)との間に関係があるかを調べます。この研究により、PET 検査の結果が、肺癌の悪性度(進行しやすさや治療の難しさ)をどの程度正確に表しているかを明らかにします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日に川崎医科大学附属病院呼吸器外科において PET 検査後に肺癌の手術を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026 年 12 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において肺癌の手術を受けられた方で、手術前に PET 検査を受けられた方の診療情報をもとにデータを選び、PET 検査で測定された数値と、手術前の CT 検査の結果、手術後に顕微鏡で調べた結果に関する分析を行い、PET 検査の数値が肺癌の悪性度をどの程度反映しているかについて調べます。

4) 使用する情報の種類

情報:年齢、性別、手術前の CT 検査の画像所見、PET 検査の測定値、病理組織診断結果(がんの種類、

大きさ、リンパ節への転移の有無、周りの組織への広がり(の有無)等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学呼吸器外科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2026年3月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 呼吸器外科

氏名：松谷隆志

電話：086-462-1111 内線 25519 (平日：8時30分～17時00分)

ファックス：086-464-1124

E-mail：takashi_matsutani@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。